

事業名	国営かんがい排水事業	地区名	ゆうふつとうぶ 勇払東部
都道府県名	北海道	関係市町村名	あつまちょう ちよう 厚真町、むかわ町
事業概要	本地区は、北海道胆振総合振興局管内東部に位置する厚真町、むかわ町にまたがる水稲作及び畑作を中心とした農業地帯である。 本地区は、厚真川とその支流河川及び厚真ダムに水源を依存しているが、用水不足が生じているとともに、小規模な用水施設が多く、老朽化と相まって用水管理に苦慮している。また、代かき期間の短縮や深水かんがいに対応した用水は確保されていない。 排水施設については、法面崩壊等により排水機能が低下し、周辺の農地において湛水被害及び過湿被害が生じている。 このため本事業では、厚真ダム、頭首工、揚水機場、用水路及び排水路を整備し、併せて関連事業でほ場を整備することにより用水改良と排水改良を行い、生産性の向上、用水管理の合理化及び農作業の効率化を図り、農業経営の安定に資するものである。 なお、不足する用水は、厚幌ダム(補助多目的ダム)に依存する。 また、農業用水は地域住民の生活に密着した利用がなされていることから、用水路の整備と併せて地域用水機能の維持、増進を図る。 【事業内容等】 受益面積 3,386ha (水田3,036ha、畑350ha) 主要工事計画 ダム 1箇所(改修)、頭首工 1箇所(新設) 揚水機 1箇所(新設)、1箇所(改修)、 用水路 76.8km(新設・改修)、排水路 8.8km(改修) 国営総事業費 31,500百万円 (平成22年度時点 32,971百万円) 工期 平成12年度～平成32年度予定 (平成12年度～平成29年度 工事期間) (平成30年度～平成32年度 施設機能監視期間)		
評価	【事業の進捗状況】 平成21年度までの進捗率は、一期が100%、二期が54%で勇払東部地区全体では約71%である。 なお、厚幌ダムは、国土交通省におけるダムの新たな基準に沿った検証の対象となったことから、今後の動向を注視し、事業の進捗を図っていく。		
価	【関連事業の進捗状況】 道営ほ場整備事業等が実施されており、その進捗率は約54%である。		
項目	【社会経済情勢の変化】 本地区の関係町である厚真町(受益面積の98.3%を占める)の平成12年と平成17年の5年間の農家の動向等の情勢変化をみると、以下のとおりである。 農業就業人口は1,252人から1,048人に減少(16.3%)し、農家数は、532戸から437戸に減少(17.9%)しているが、専業農家と第1種兼業農家を合わせた主業農家割合は、農家数の76.9%から80.8%に増加している。 経営耕地面積は、4,271haから4,100haと減少(4%)しているが、戸当たり平均経営耕地面積は、8.0haから9.4haに増加(17.5%)し、経営規模は拡大が進んでいる。 農業産出額は、64.6億円から73.2億円に増加(13.3%)している。 このように、本地域では労働力は全体として減少しているが、担い手となる農家は一定の割合で確保され、経営耕地面積も減少しているが、戸別経営では規模拡大が進められてきている。このような状況において農業産出額は増加しており、地域経済における地域農業の地位に変化はない。		

【評価項目のまとめ】

本地域の農業は、胆振東部地域の広域ブランド米「たんとうまい」の主産地として、地域における稲作の中心となるなど、地域経済を支える重要な産業となっている。

しかしながら、農家戸数の減少や高齢化の進行により、生産体制の弱体化や農村活力の低下が懸念されており、農業を取り巻く社会・経済情勢の変化に適切に対応できる高い技術と優れた経営管理能力を持つ農業者の育成や、高い生産性を維持できる農業基盤の整備が必要となっている。

地域の主要作物である稲作は、一層の良質・良食味米の出荷を目指しており、田植え期間の集中による代かき期間の短縮や冷害防止のための深水かんがいを行う必要があるが、河川流況の変動により用水不足をきたしているとともに、代かき期間の短縮や深水かんがい等近年の営農に対応した用水が確保されていない状況である。また、地区内の用水施設はかんがい用水を反復利用するための施設が多数設置されているとともに、老朽化による維持管理費が増加していることから、用水施設の改修と統廃合が不可欠となっている。

このため本地域においては、不足する用水を厚幌ダムに依存し、頭首工、揚水機場、用水路及び排水路の整備や取水施設の統廃合を行うとともに、その他末端用水施設やほ場整備を行うことで、土地生産性の向上、水管理の合理化、農作業の効率化を図り、農業経営の安定を図ることの必要性に変化は無い。

本事業は、環境との調和への配慮及びコスト縮減に努めつつ進捗を図ってきたところである。

関係団体からは関連事業とも連携を図り、今後ともコスト縮減に努め、早期に効果を発現することが求められている。

【技術検討会の意見】

良食味米の安定生産のためには、支溪流掛かりの水不足を解消するための用水や代かき期間短縮のために必要な用水、深水かんがい用水の早期確保が必要と認められる。

地域用水機能の増進に係る取り組みの促進に向け、地域住民等との連携に努められたい。

現計画の総事業費に対し現時点の総事業費が増嵩しており、事業費の動向を把握しつつ、一層のコスト縮減に努められたい。

厚幌ダム建設に係る動向を注視し、事業を進められたい。

美里頭首工の魚道については、下流に位置する統合頭首工（魚道無し）の撤去後、モニタリング調査による効果の検証に努められたい。

【事業の実施方針】

代かき期の短縮や深水かんがいに必要な用水を確保し、広域ブランド米である「たんとうまい」の安定生産等による農業経営の安定を図るため、コスト縮減や環境との調和への配慮に努め、事業完了に向けて関係団体と連携しつつ、事業を着実に推進する。

また、事業効果の早期発現を図るため、関係団体と連携して関連事業の推進に努める。

なお、厚幌ダムは、国土交通省におけるダムの新たな基準に沿った検証の対象となったことから、今後の検証動向を注視しつつ、事業を進めていく。

< 評価に使用した資料 >

国勢調査（平成12年、平成17年）

農林業センサス（2000年、2005年）

北海道農林水産統計年報（農業統計市町村別編 平成12年～平成13年、平成17年～18年）

工業統計（<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/010cmn/index.htm>）

商業統計（<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tuk/023ccm/index.htm>）

農林水産省構造改善局計画部（監修）（1997）「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社

国営勇払東部土地改良事業計画書（平成14年5月北海道開発局）

国営勇払東部地区営農実態等把握調査結果（平成21年北海道開発局室蘭開発建設部胆振東部農業開発事業所調べ）

国営かんがい排水事業 勇払東部地区 事業概要図

